

研修等報告書

令和 4年 5月 9日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

住 所	岡山市北区柳町2-1-1
電 話	086-222-7601
案 件	認定NPO 法人全国こども食堂支援センターむすびえ 理事長 湯浅 誠 こども食堂と私たちの地域・社会
期 日	令和4年4月26日(火) 17時30分から19時まで
応 対 者	時事通信社岡山支局 内外情勢調査会岡山 堀川弘文
訪問施設	ホテルグランヴィア岡山
概 要	認定NPO 理事長、東大特任教授、社会活動家である湯浅誠氏による、こども食堂の役割や存在意義について講義を受けた。子どもの貧困対策としての側面に注目がされがちなこども食堂だが、全国的には「参加条件なし」「実際には大人や高齢者も参加している」という実態があり、今では「公園のような地域みんなの居場所」「縦割り・横割り・年代割を排した、人をタテにもヨコにも割らない地域コミュニティづくりの拠点」として存在している。こども食堂は国が政策として旗振りをしているわけでも、大企業がフランチャイズ化しているわけでもないがコロナ禍においても増加し続けている。これは、地域における交流の場が減少している日本社会において、こども食堂が地域のつながりづくりという役割を担っているからである。逆に、子どものころから関わるができるという点に注目してお寺や企業が参画している現状すらある。こども食堂は貧困家庭の子どもの対象にしているわけではないが大人数とともに食事をしていく中で「コロッケを見たことがない子」「鍋をつついたことがない子」「お誕生日会をやってもらったことがない子」など、一般的な家庭であれば経験をしているはずのことを経験していないと知ることによって要注意家庭に気づきサポートにつなげる事もできる。笠岡市においてもふるさと納税等でこども食堂をサポートできないかと考えた。
添付書類	研修等資料